

心豊かな世代が育つ

童話の里づくり

446

「シリーズ」 あなたの人權・わたしの人權

『自分で確かめよう』

塚脇小学校

5年

藤原 莉心

五年生になって、「木曾の小太郎」という学習をしました。

その中で、本当のことがわからな
い、うわさや迷信を自分で確かめな
い村の人々と、自分の考えでうわさ
を確かめようとした小太郎のちがい
に気づきました。

小太郎は、自分がかおると夫婦に
なりたいたいという気持ちも強かったと
思うし、なによりも理由もわからな
いうわさはおかしいと考えていたと
思います。

周りの人にさげられ、あいさつも
してもらえなくて、悪口を言われて
も、おしよさんから聞いた正しい
ことを一人ずつに話してまわったの
は、すごいと思いました。

私は、この「木曾の小太郎」の学
習をして思い出したことがあります。
私には、Aちゃんという友だちが
いました。

そのAちゃんとは、前からすごく
仲が良く、いつもいっしょに遊んだ
り、行動したりしていました。

ある日、クラス遊びの時に、A
ちゃんと仲の良かったBちゃんが、
Aちゃんのいない時に、
「Aちゃん、りこちゃんのことをき
らいて言ってたよ。」

と言われて、とてもショックを受け
ました。

けれど、Bちゃんががうところ
へ行った後、Aちゃんはいつも通り
に話しかけてくれました。

でも、その時は、Bちゃんの言っ
ていたことは本当のことだと思いい
んでいて、あまりAちゃんと話をし
ませんでした。

それから、だんだんAちゃんとは
話さなくなり、クラスが分かれてし
まい、Aちゃんとは全く話をしなく
なりました。

しかし、しばらくして、Aちゃん
の方から話しかけたり、遊びにさ
そってくれたりしていたので、もし
かしたら、「Bちゃんがいっしょに
遊びたくて、うそをついたのかもし
れない」と思いました。

なぜなら、BちゃんはずっとA
ちゃんと仲が良かったけれど、私と
Aちゃんが仲良く遊び出してから
AちゃんとBちゃんは、あまり遊ば
なくなっていたからです。

Bちゃんは、以前のようにAちゃ
んと仲良くなりたかったのかもしれ
ないと思い、Aちゃんに思いきって
話してみました。

すると、以前のように明るい返事
をしてくれました。とてもうれし
かったです。

その後、今ではAちゃんもBちゃ
んとも仲良くできています。

私は、結局Aちゃんの気持ちもB
ちゃんの気持ちもよく考えていな
かったと思います。

そして、仲が良くなったとはいえ、
人の話を本当のことだと思って、A

ちゃんをさけてしまったので、悪
かったです。

これからは、人から聞いた話は、
すぐに全て信じるのではなく、「木
曾の小太郎」のように、自分で事実
を確かめてから行動していきたいで
す。



この人權作文について、意見や
感想、激励など、お寄せください。
また、みなさんの投稿もお待ち
しています。

わたしたちをとりまく様々な不
合理や差別性について気づいたこ
とや感じたことを、二〇〇字程
度にまとめて、住所、氏名、連絡
先電話番号を記入して(匿名可)、
玖珠町教育委員会
社会教育課「あな
たの人權・わたし
の人權」までお届
けください。

